

# FJ型500馬力時代の幕が開く

西



## スカイライン

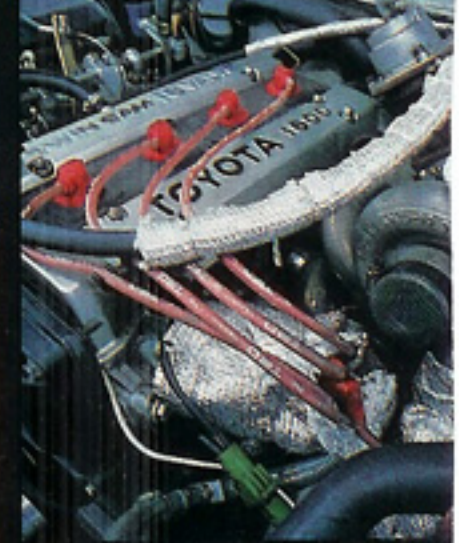
RS-X2.4ツインターボ  
トライアル

by 東大阪市 ☎0729 (65) 6823

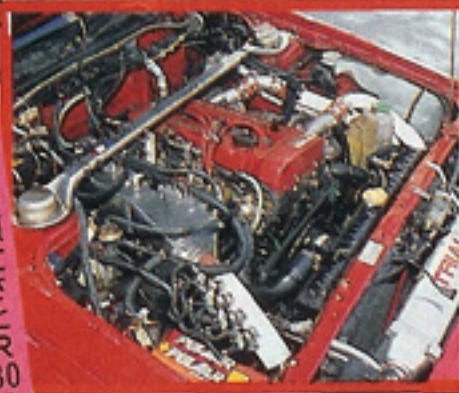
▲スバルタンに取りつけられたメーター類の中で、9000rpmからレッドのタコが印象的だ  
▼195/50のP7にTRDのショックとスプリングで固められた足回り



▼ステンレスのタコ足にTD05タービンを2基マウント、吸気はソレックスの50φで、カムはターボ仕様としてはワイルドな304を使うのだ



特注100φ出しのマフラー以外はほとんどノーマル。今、関西じゃこのR30と箱スカが中古車市場で人気絶頂だ



追加インジェクター4本、ドでかいサージタンク……これだけ入ってもまだまだスペースはラクだし、エンジン本体もパワーに負けるようなことはない。これがFJ人気の秘密だ

FJの頑丈さとR30のエンジンルームの広さを最大限に利用したフルチューン仕様のスカイラインだ。  
エンジンは東名のFJキットで2.4Lにスケールアップ。1.5kg/cm<sup>2</sup>以上のハイブリストをかけるために、ピストンも低圧縮タイプの特注品だ。これに、排気側にTD05のハウジングを使ったTD06タービンを2コ取り付ける。タイムラグを少なくするためのトライアルの必殺ワザだ。  
キャブレレーションは、ECIを取り払ってキャブレーションの出し易いOERの50φがトリーティングの出し易い。  
ンと取り付けられている。  
さて、走りの方だが、まさにFJを真剣に見直させるほどにシャープでパワフル。最近ではクソ馬力のあるクルマはそう珍しくないが、これだけの高過給ターボで、これだけアクセラレーションにシャープに反応してくれるエンジンはそうサラにない。ワインディングを走れるトラックス、ヘシヤルだ。(レポート●鈴木直也)



シブさの原因はグローブボックスに上手に埋め込まれたメーターに。それとレカロのシートも



ショップに備え付けのシャシーダイナモを振り切っちゃったというこのRS。あいく取材時はセッティングが出来てなかったけど、これで生駒あたりをギンギンに走らせてたら“松”はかたかった

6.9Lにツインターボ、800psとくれば、そのコーキさは“松”つきやない!



東